

ボクシング

専門委員長 高木 幸司



今年度のボクシング競技は、県総体団体戦で吉野川が6連覇を果たし優勝する大会でした。

個人では篠原（吉野）宇野（徳市）松下（科技）3名が全国総体に出場しましたが全員初戦で敗退しました。

宇野（徳市）は3年連続で全国大会に出場するなど頑張ってくれましたが残念ながら入賞することはできませんでした。松下（科技）は去年の全国大会と比べて成長した戦いぶりでしたが勝つことができず残念な結果になりました。篠原（吉野）は全国初出場でしたが善戦及ばず敗退となりました。

◎第59回県高校総体 令1. 6. 1・2 於 吉野川高校ボクシング場

【個人の部】

<ピン級>

1 遊塚 瑞稀 (吉野) 認定優勝 遊塚 瑞稀 (吉野)

<ライトフライ級>

1 篠原 章樹 (吉野) ① WP 篠原 章樹 (吉野)
2 吉村 澄我 (吉野)

<フライ級>

1 市原 昇英 (吉野) ② WP 宇野 遥紀市 (徳市)
3 宇野 遥紀市 (徳市) RSC 3R 0' 49"
2 高瀬 勇樹 (吉野)

<バンタム級>

1 松下海那人 (科技) 認定優勝 松下海那人 (科技)

<優秀選手> 篠原 章樹 (吉野)

【学校対抗の部】

学校名	階級									合計	順位
	P	LF	F	B	L	LW	W	M			
1 徳島科技				5						5	
2 吉野川	5	9	3							17	1
3 徳島市立			7							7	2

*勝ち点：1点、1位：5点、2位：3点、3位：1点とする。

*2位～4位は、競技規則による。

<団体優勝> 吉野川高校

今年の全国総体も3人と出場人数も少なく寂しい全国大会でしたが、個々に実力を発揮出来た大会でもありました。

毎年の課題である、指導者不足に伴う選手の受け入れ体制の減少など課題は山積みですが地道に選手、指導者の育成に励みたいと思います。また、今年は元アジア大会金メダリストを招き実践練習をしていただくなど世界レベルのボクサーとグローブを合わせるなど貴重な体験をさせていただき選手には良い経験になったと思います。

競技者の人数は少ないですが指導して頂いた事が出来るようになってきたので技術は確実に向上していると思えます。

今後も強豪校を招いた講習会、合宿なども継続して、選手、指導者の資質向上に努めていきたいとも考えておりますので、今後とも皆様のご指導並びにご支援を、よろしく願いいたします。

◎第25回四国高等学校選手権 令1. 6. 15・16 於 高知県 岡豊高校

<ピン級>

6月15日 | 6月16日
松下 大純 (新田) WP 桑内 翔樹 (鹿島朝日)
遊塚 瑞稀 (吉野) RSC 1R 0' 19"
桑内 翔樹 (鹿島朝日)

<ライトフライ級>

登本 尊大 (高松工芸) WP 山下 遥輝 (新田)
松岡 龍之助 (岡豊) WP
山下 遥輝 (新田) RSC 3R 0' 27"
篠原 章樹 (吉野)

<フライ級>

叶世 暁輝 (新田) WP 三木 海舟 (岡豊)
三木 海舟 (岡豊) WP
田中 佑樹 (高松工芸) WP
宇野 遥紀市 (徳市)

<バンタム級>

青野 悠 (新田) WP 新庄 勇雅 (新田)
野町 光佑 (伊野商業) WP
新庄 勇雅 (新田) WP
松下海那人 (科技)

